

平成 28 年 5 月 27 日
茨城県水産試験場内水面支場
(担当 : 内水面資源部)

平成 28 年 アユの遡上状況について (解禁前情報)

6 月 1 日に多くの県内河川でアユ釣りが解禁となります。茨城県水産試験場内水面支場では、県内河川のうち久慈川堅磐堰 (河口から約 8 km) および那珂川千代橋 (河口から約 30 km) を調査定点とし、2 月下旬よりアユの遡上調査を実施しておりますので、この結果をまとめ解禁前情報としてお知らせします。

1. 河川水温の推移

久慈川堅磐堰の河川水温は、概ね平年並みに推移しました。那珂川千代橋の河川水温については、4 月下旬～5 月中旬が平年よりも高くなりました。

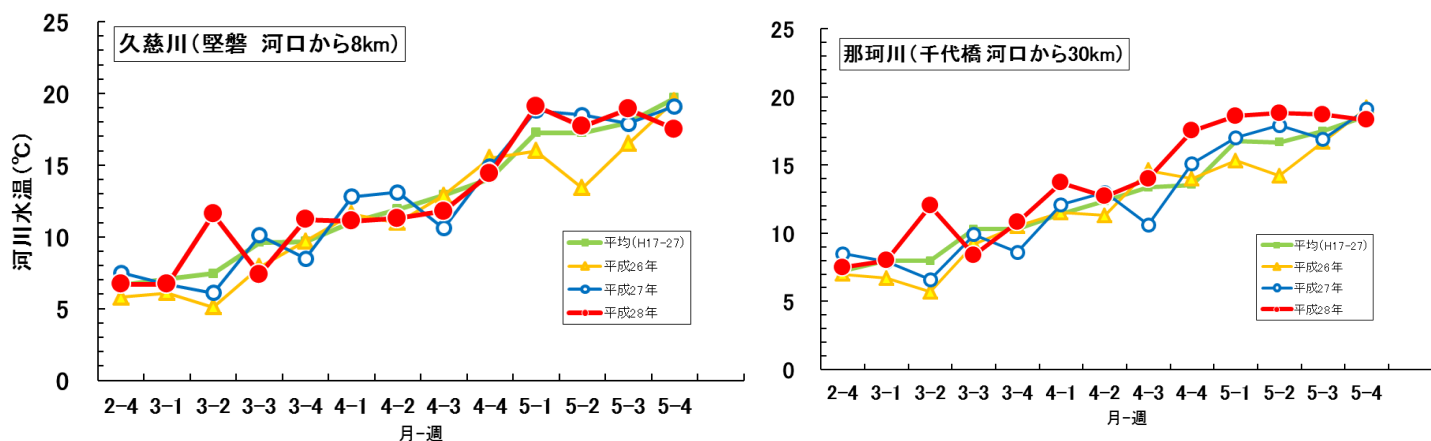


図 1 調査定点における河川水温の推移
(左図 : 久慈川堅磐堰, 右図 : 那珂川千代橋)

2. アユの遡上状況

(1) 遡上初確認日について

調査定点での遡上初確認日は、久慈川では平成17年以降最も早く、那珂川でも同様に2番目に早い確認となりました。

表1 茨城県水産試験場内水面支場の調査による遡上初確認日

| 年 | 久慈川（堅磐堰） | | 那珂川（千代橋） | |
|--------|----------|----------|----------|----------|
| | 月日 | 平均全長（mm） | 月日 | 平均全長（mm） |
| 平成28年 | 2月23日 | 86.21 | 3月23日 | 81.10 |
| 平成27年 | 2月25日 | 70.24 | 3月31日 | 77.36 |
| 平成26年 | 3月25日 | 89.4 | 4月2日 | 87.01 |
| 平成25年 | 3月15日 | 84.8 | 3月25日 | 82.7 |
| 平成24年 | 3月9日 | 80.0 | 4月17日 | 74.2 |
| 平成23年* | 3月30日 | 78.7 | 4月7日 | 78.2 |
| 平成22年 | 3月9日 | 104.1 | 4月8日 | 117.9 |
| 平成21年 | 4月6日 | 111.8 | 4月6日 | 91.0 |
| 平成20年 | 2月27日 | 83.7 | 3月19日 | 88.8 |
| 平成19年 | 3月6日 | 94.7 | 3月27日 | 85.8 |
| 平成18年 | 3月7日 | 95.1 | 3月29日 | 90.4 |
| 平成17年 | 3月2日 | 93.9 | 4月6日 | 98.0 |

※平成23年は東日本大震災の影響から連続調査ができなかったため“参考値”とした。



久慈川で採集された遡上アユ(2月23日)



那珂川で採集された遡上アユ(3月23日)

【参考図】 調査定点で採集された遡上アユ

(2) 遡上アユの採集尾数の推移 (投網 10 投あたりに換算した採集尾数の推移)

久慈川： 遡上ピークは平年の傾向と同じ 5 月中旬ですが，平年と比較すると早期の遡上水準が低く，遡上ピーク時に集中して遡上している状況だったと考えられます。本調査結果から，遡上水準は平年並からやや少なめと推測されますが，上流部でもハミ跡等の痕跡が見受けられることや，調査時には大型個体も散見されましたので，今後の成長に期待したいところです。

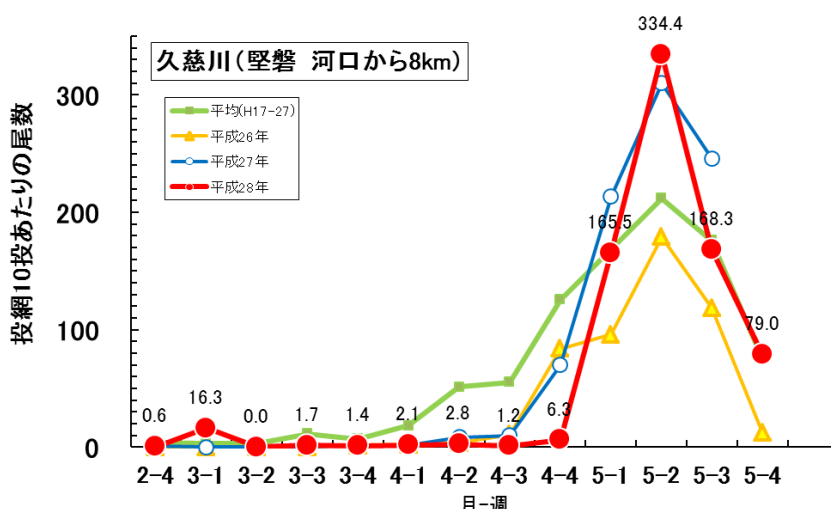


図2 久慈川堅磐堰でのアユ遡上状況

那珂川： 久慈川と同様に早期の遡上水準が低く，遡上ピークとなる 4 月下旬と 5 月中旬に集中して遡上している状況であったと考えられます。本調査から，遡上水準は平年並みと推測されます。

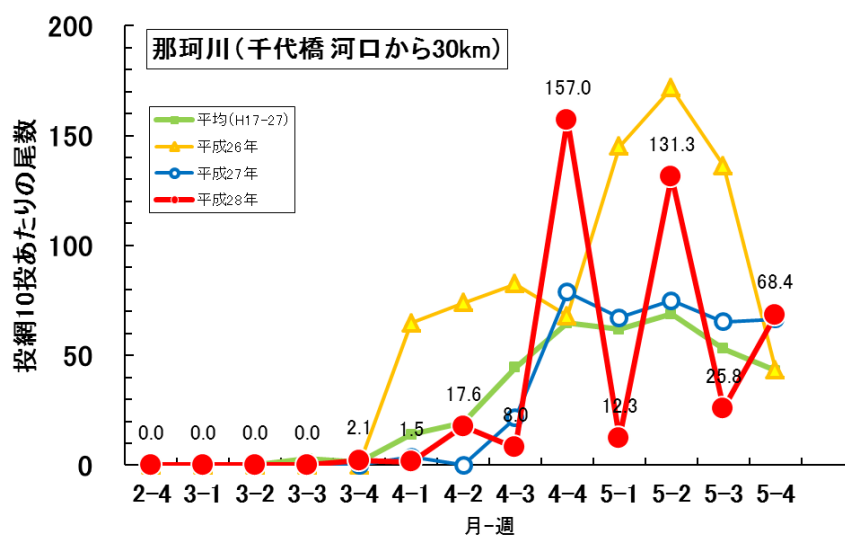


図3 那珂川千代橋でのアユ遡上状況

3. 漁協の聞き取り結果

久慈川： 平年と比べてアユの遡上が早く始まり、それ以降も遡上が観察されている。釣果については、放流ものと併せて期待したい。釣果は天候、河川水温、河川水量次第となるが、ここ数年は秋季の自主禁漁やアユの産卵場造成といった資源保護の取り組みや放流手法の改善等の結果、解禁日に40尾以上釣り上げる方もみられる。シーズン中、多くの釣り客と好釣果を期待したい。

那珂川： アユの遡上は平年よりも早く始まり、それ以降も途切れることなく元気な遡上アユが見られ、期待している。2年前（平成26年）からアユの産卵場造成に取り組んでおり、シーズン中の釣れ具合は天候にも左右されるだろうが、産卵場造成のような取り組みの効果が出て、好釣果となればと思う。

4. まとめ

当支場による調査結果から、平成28年の久慈川および那珂川のアユの遡上は、平年と比較し、久慈川では平年並み～やや低い水準、那珂川では平年並みの水準と考えられます。4～5月は両河川とも渇水気味でしたが、アユの遡上は順調でした。主要な釣り漁場等でも遡上アユやハミ跡が多くみられたとの情報もあることから、今後の成長が期待される場所です。

